就活対策講座 2 SHUKATSU KOUZA

グループディスカッション基礎知識

就職活動の選考において実施されるグループディスカッション（GD）。グループディスカッションとは、与えられたテーマについてグループで議論を行い、制限時間内に結論をまとめてプレゼンを行う採用選考プロセスの一つです。ここでは、グループディスカッションを基礎的な知識から解説します。

Q グループディスカッションの一般的な流れは？

グループディスカッションの一般的な流れは下記のとおりで、制限時間は30分～40分程度に設定されているケースが多いようです。時間が限られているため、参加者同士で協力して円滑に議論を進めていくことが求められます。

【GDの一般的な流れ】

1. **ルール説明／テーマ発表**
   企業の担当者からルールの説明、議論のテーマを発表。
2. **自己紹介／役割分担**
   簡単な自己紹介をして、司会者や書記など役割分担を決定。
3. **タイムスケジュール決定**
   それぞれのプロセスを何分までに終わらせるべきか、認識を共有。
4. **議論すべきテーマ・ゴールの確認**
   テーマや議論のゴールに対する認識のズレがないかを確認。
5. **議論／アイデア出し**
   全員で意見を出し合い、議論を進める。
6. **意見の整理**
   ここまでに出された意見を系統・タイプ別に分類し、整理。
7. **意見の集約・まとめ／発表準備**
   グループとしての意見を取りまとめ、発表に向けた準備をする。
8. **発表**
   発表者を決め、プレゼンテーションを行う。発表がないケースもある。

Q どんな議論のテーマが出される？

グループディスカッションで出題されるテーマは多岐にわたります。とはいえ、出題テーマの傾向はある程度分類ができるので、タイプ別に議論の進め方や、注意すべき点をチェックしておきましょう。

課題解決型

課題解決型のグループディスカッションは、企業や社会における様々なテーマについて議論し、解決策の提示が求められます。テーマによっては事前知識をどの程度有しているかによって差がつくケースもありますが、議論に必要な簡単な参考資料などが提供される場合もあります。理系技術職を対象とした採用の場合は技術についての知識や考えを問われるテーマもあります。

出題テーマの例

- A社の売り上げを20%伸ばすための戦略を考えよ
- 電気自動車を普及させるためにどんな施策が必要か
- 都市Bにおける渋滞を解消するための施策を検討せよ

抽象テーマ型

明確な正解がないテーマについて話し合うのが抽象テーマ型です。各人の意見が異なり、意見集約が難しいのがこのテーマの特徴で、議論の方向性を定めることが重要となります。（例えば、リーダーシップについての議論であれば、「何を率いるリーダーなのか」といった認識を全体で共有する、など）

出題テーマの例

- リーダーシップとは何か
- AIによってビジネスはどう変化するか
- C社（受験企業）の強みとは

選択議論型

選択議論型は、複数の選択肢の中からひとつを選んだり、賛成派と反対派に分かれて議論を行います。答えが明確に決まっている分、意見が対立しやすいので、選択肢に対する評価軸を明確にしたうえで、多くのメンバーにとって納得感のある答えを導くことが重要になります。

出題テーマの例

- 北海道と沖縄どちらが住みやすいか
- 新卒一括採用に賛成か反対か
- 新商品X、Y、Zのうち最も売れるのはどれか

Q 参加者のどこを評価している？

企業組織において集団行動やチームワークは非常に重要な要素。面接などでは見極め難い個人の性質や素養を評価するのがグループワークの目的です。GDにおける評価ポイントは企業によって異なりますが、下記の5つを評価するケースが多いです。左の3つは特に評価している企業が多いポイントとなっており、これらに加えて発想力やリーダーシップを評価するケースもあります。

【企業の主な評価ポイント】

☑ 積極性
自分の意見を積極的に発言できるか。議論の進行に貢献できているか。

☑ 論理性
発言に矛盾点はないか。論理的に周囲が納得できる意見を話せるか。

☑ 協調性
周囲の意見にも耳を傾け、チームで協力して課題に取り組めるか。

☑ 発想力
独自視点のアイデアや、議論が行き詰まった際に異なる角度から提言できるか。

☑ リーダーシップ
意見を集約したり、議論をリードできるか。

グループディスカッションについては、そもそも議論をすることに慣れておらず、苦手意識を持っている方も少なくないでしょう。それゆえ、最も実践練習が必要な選考プロセスの一つといえるかもしれません。就活仲間を集めてGDの実践練習を行うことで、具体的に見えてくる課題や注意点は少なくないので、トレーニングを通じて議論のスタイルを洗練させ、本番に備えてください。